

## 7.1.1 生産スケジュールリング

生産スケジュールリングは、計画されたオーダーを、所定のリードタイムを使って工程展開し、作業工程ごとの着手予定日、完了予定日を求めていきます。スケジュールリング方法としては、バックワード・フォワードの2通りの方法があります。

MRPはバックワード・スケジュールリングで計算します。その結果、オーダーの発行予定日が、過去日になった場合、「勧告リスト」のメッセージを發します。この場合は、個々の作業工程の作業時間を短縮するか、オーバーラップしてスケジュール内に入る工夫をします。それが無理な場合は、着手日を基準にフォワードスケジュールで完成予定日を求め、顧客と納期を調整していくこととなります。

SCPでは、バックワードとフォワードスケジュールを繰り返しながら調整していく方法を取ります。このようにスケジュールの方法をルール化し、迅速に調整できる体制を整備しておくことが重要です。

